

節電に関するアンケート調査結果

小口需要家のご協力

調査方法 大阪商工会議所、京都商工会議所、神戸商工会議所
福岡商工会議所のご協力を得てアンケート調査

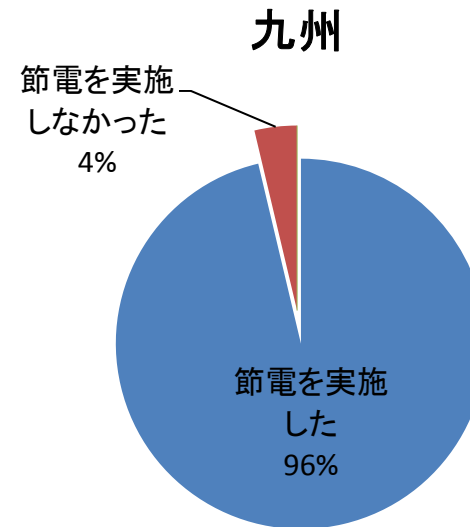
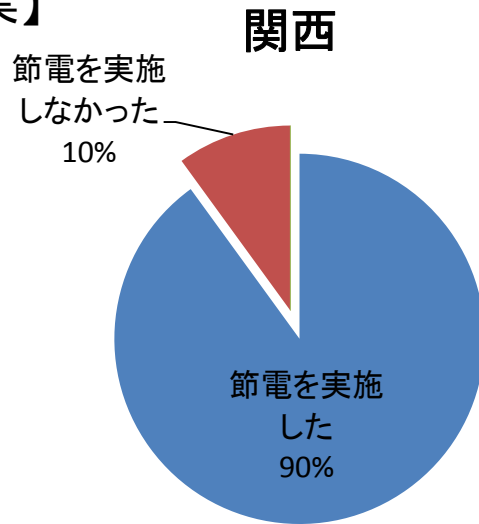
回答数(小口需要家)

関西電力管内計 576社(製造業170社、非製造業406社)

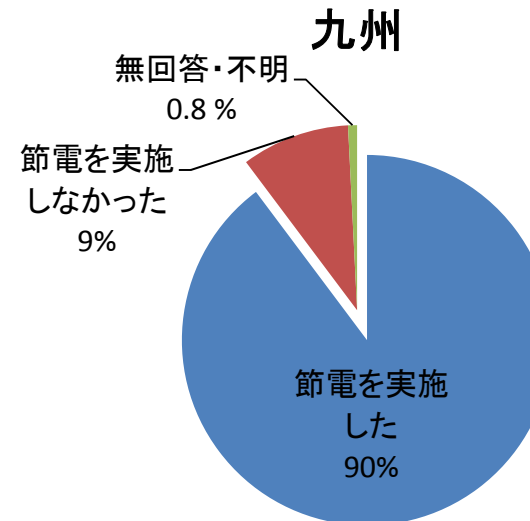
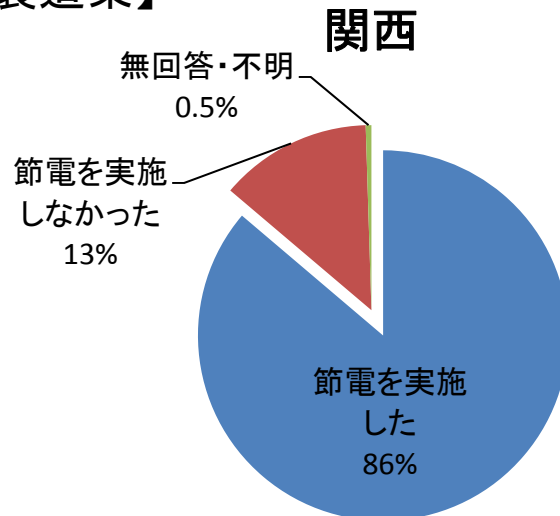
九州電力管内計 154社(製造業 27社、非製造業127社)

①節電の実施の有無

【製造業】

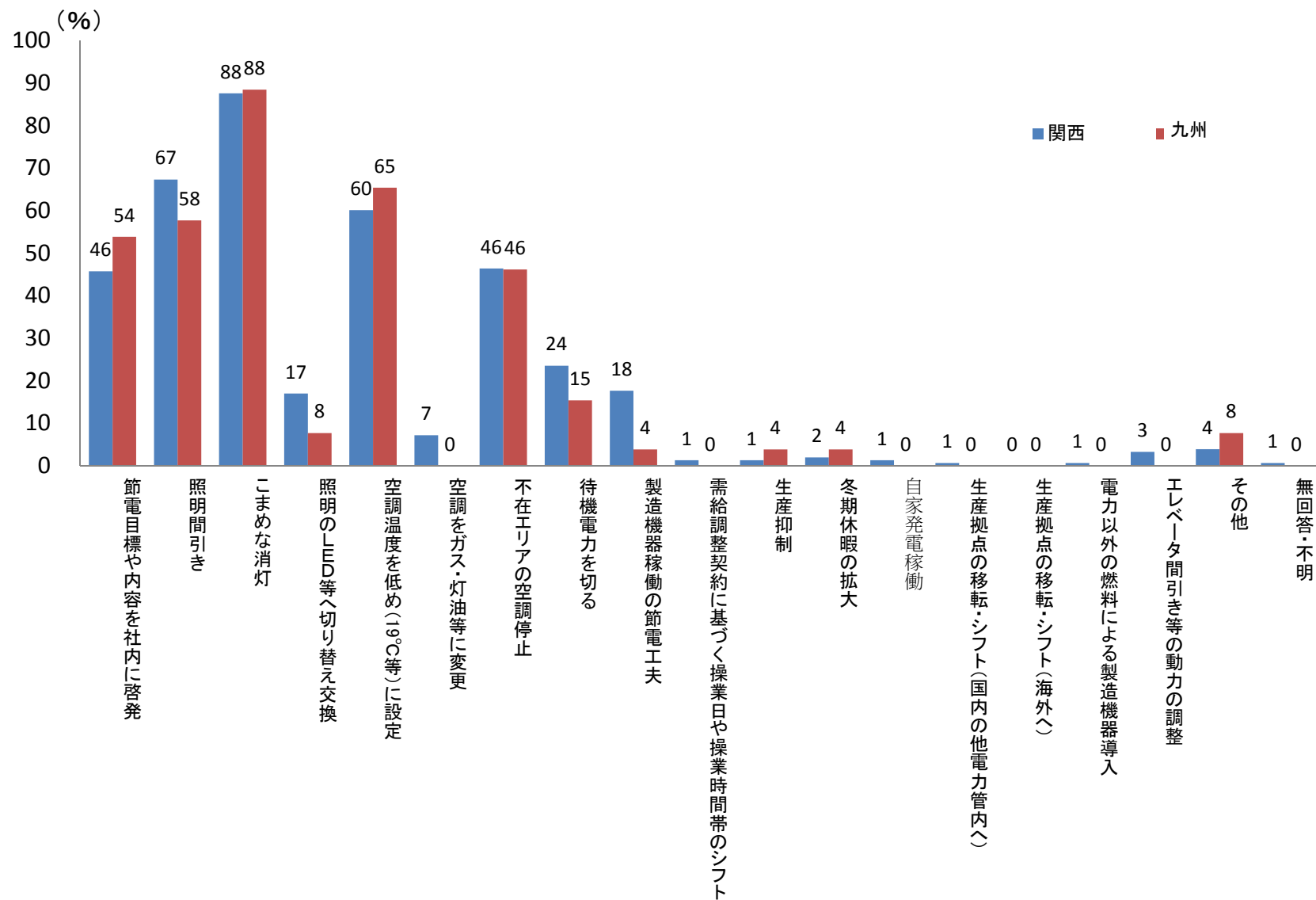


【非製造業】



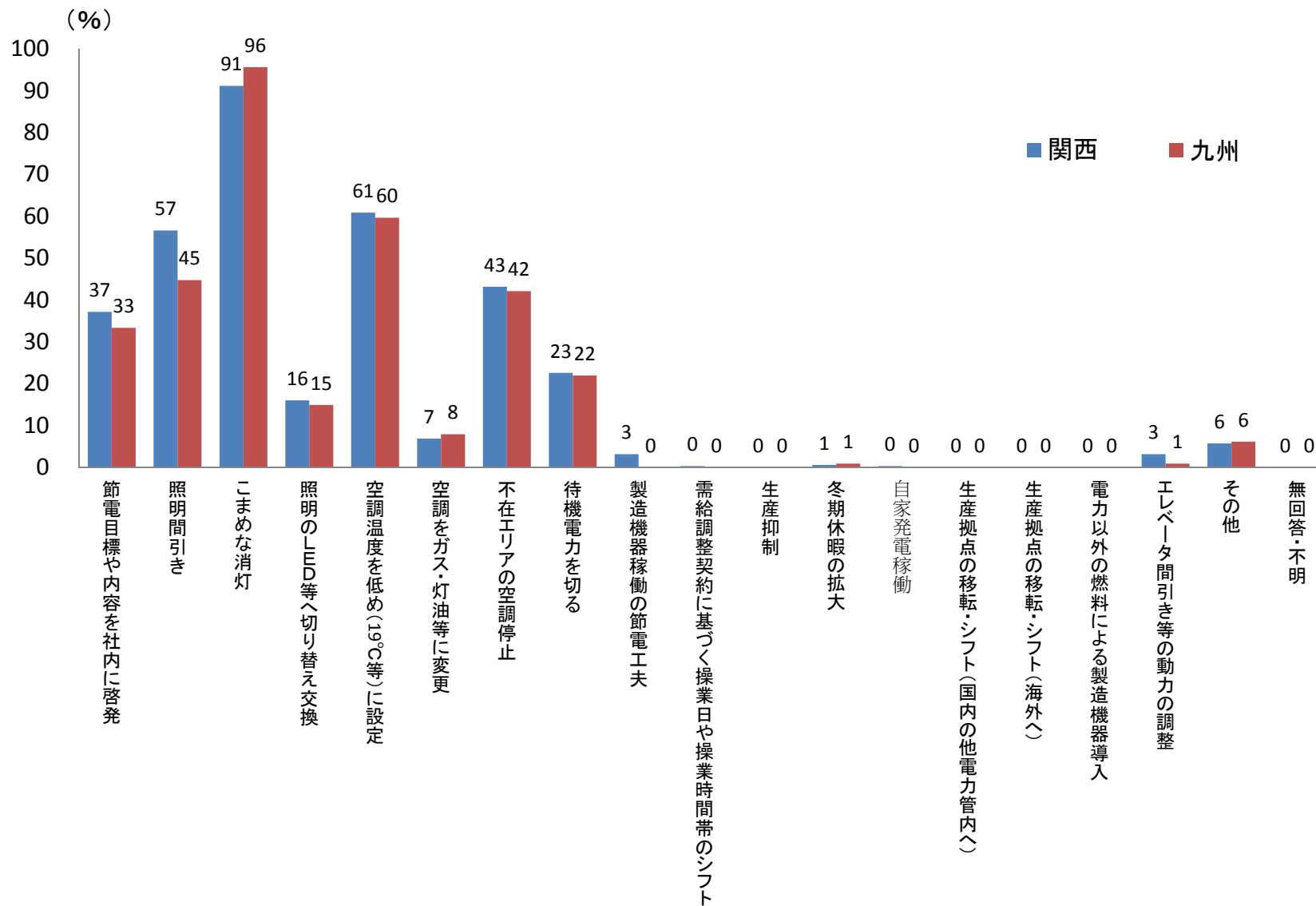
②実施した節電の内容(製造業) (複数回答)

【製造業】



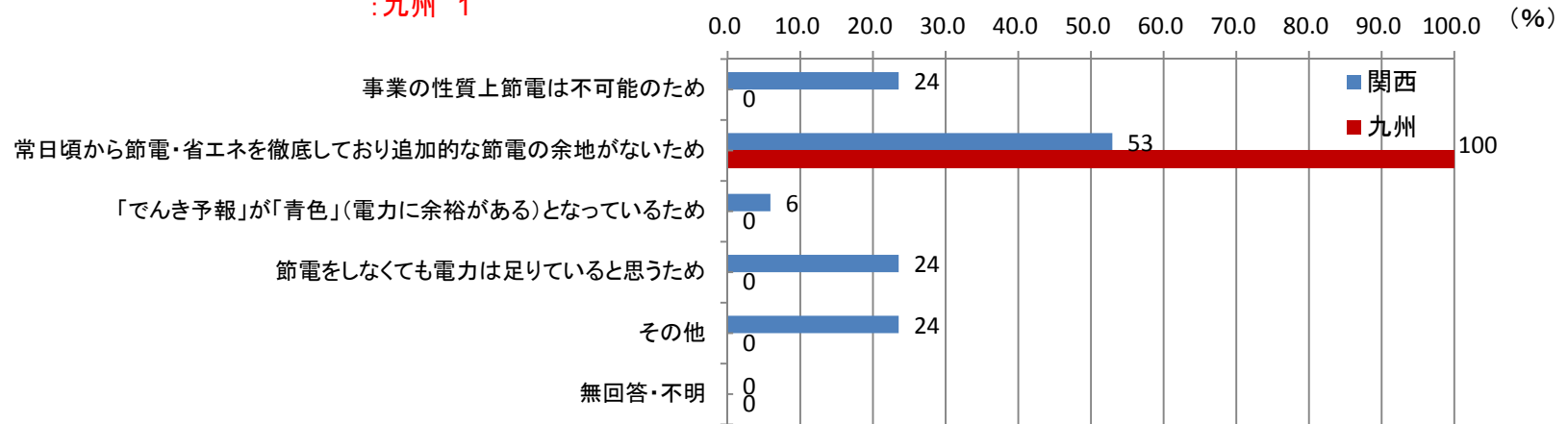
③実施した節電の内容(非製造業) (複数回答)

【非製造業】

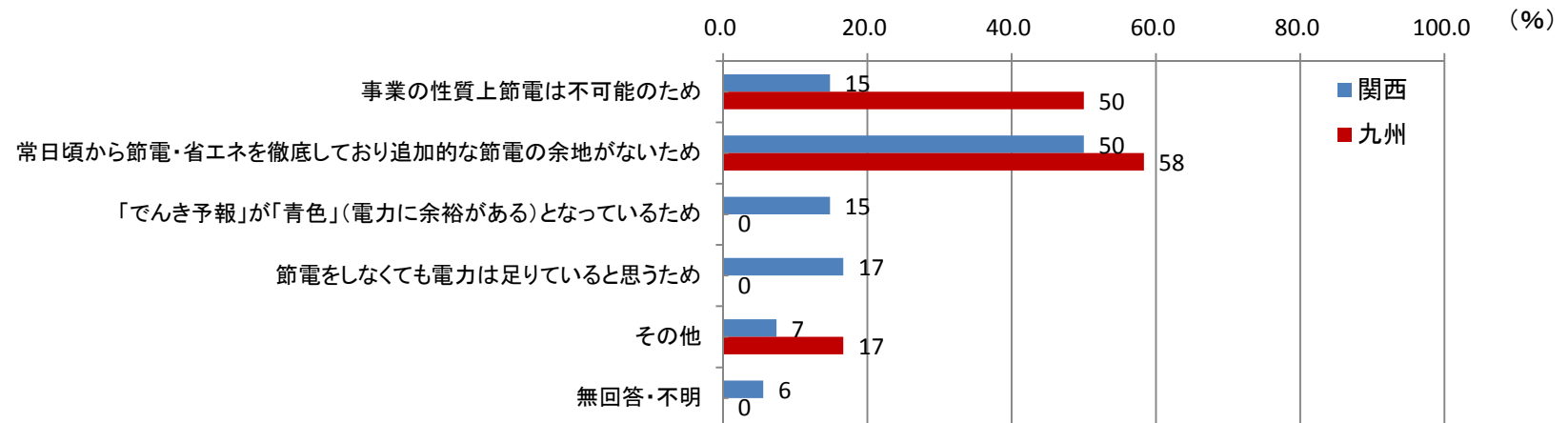


④節電を実施しなかった理由(①で「節電を実施していない」と回答した企業のみ)
(複数回答)

【製造業】 注)対象サンプル数 : 関西 17
: 九州 1

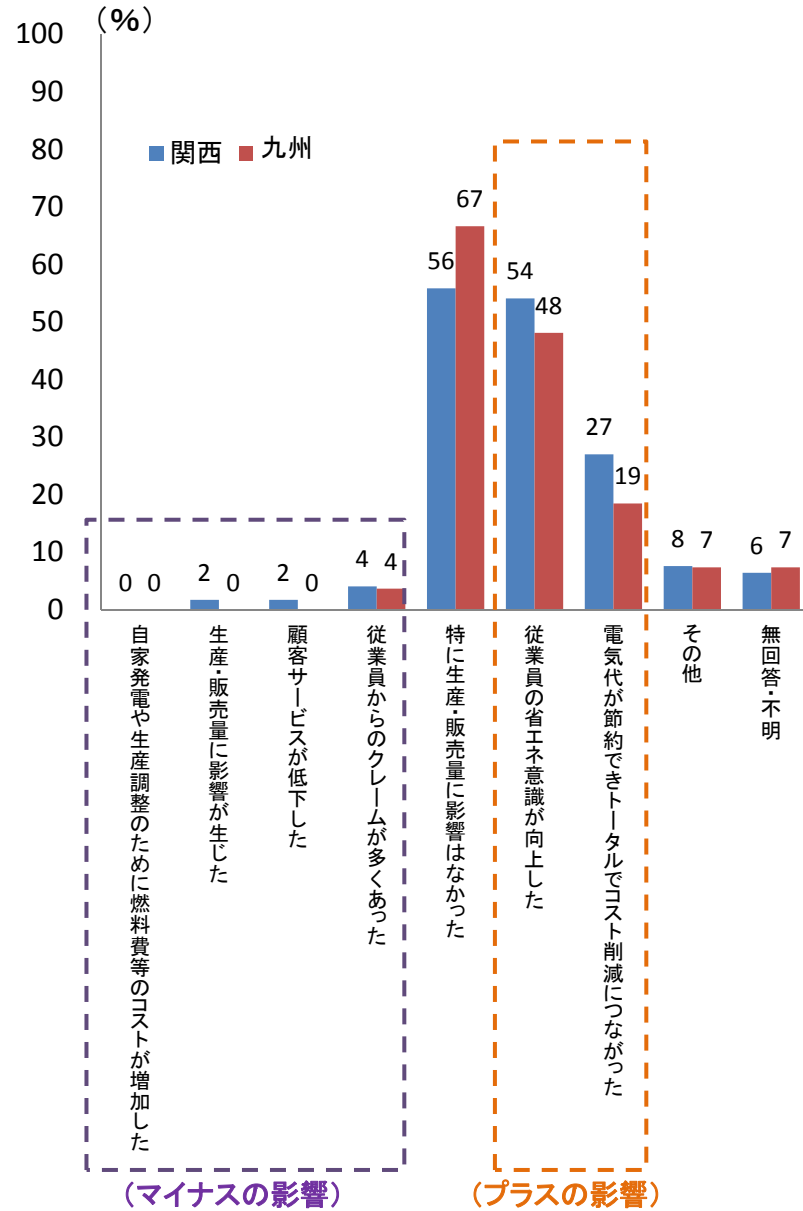


【非製造業】 注)対象サンプル数 : 関西 54
: 九州 12

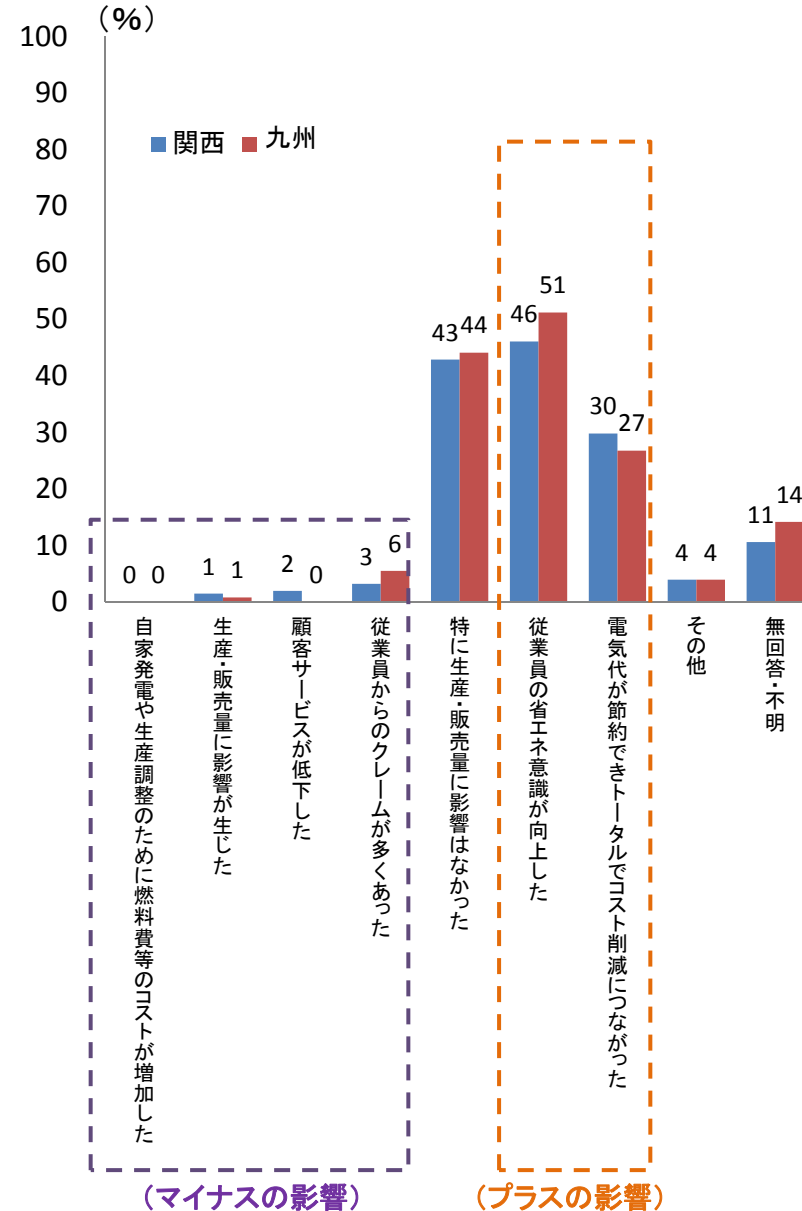


⑤節電による生産等への影響（複数回答）

【製造業】

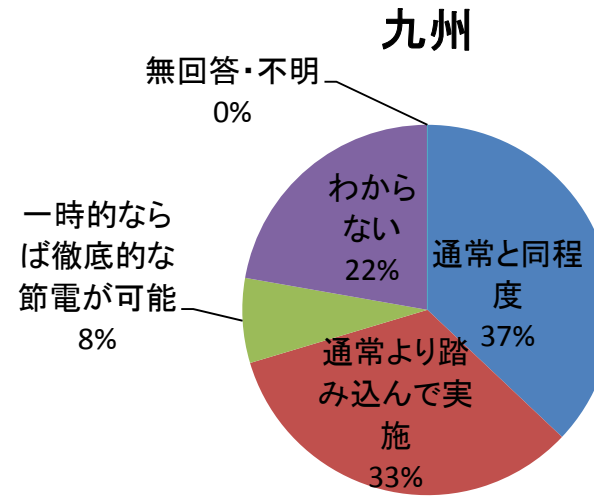
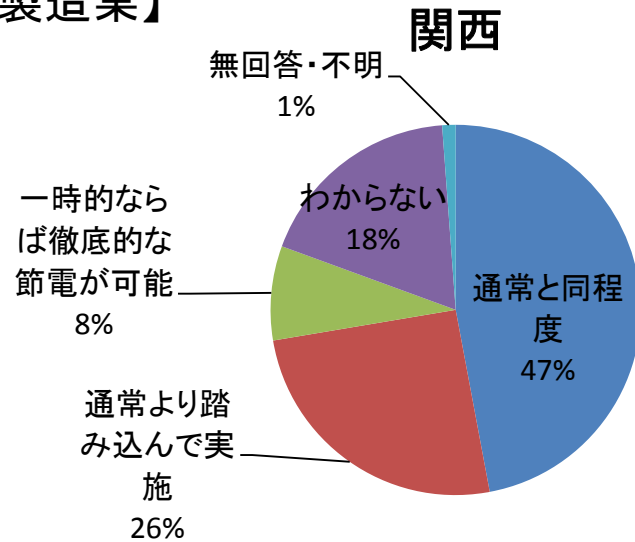


【非製造業】

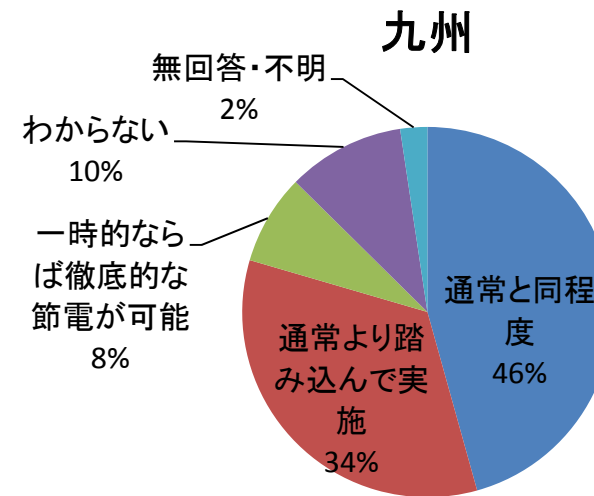
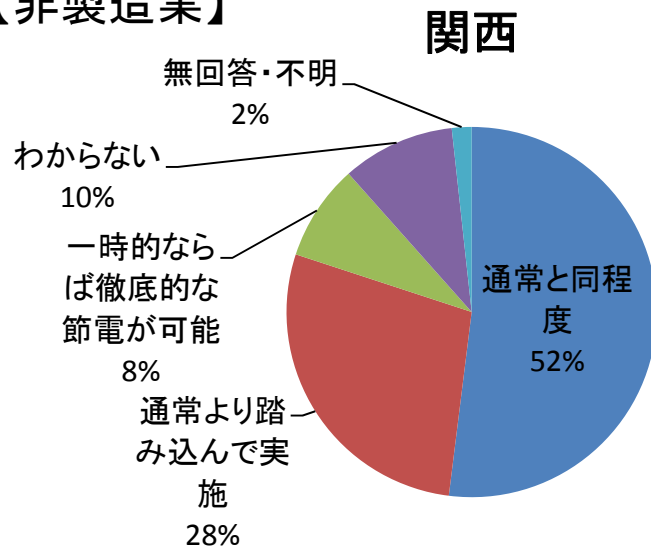


⑥需給情報の活用: 極寒日に発電所のトラブル停止等のため、政府・電力会社から緊急の節電要請があった場合、一時的に実施可能な節電幅
 (「でんき予報」が「厳しい(赤)」となった2月3日等)

【製造業】

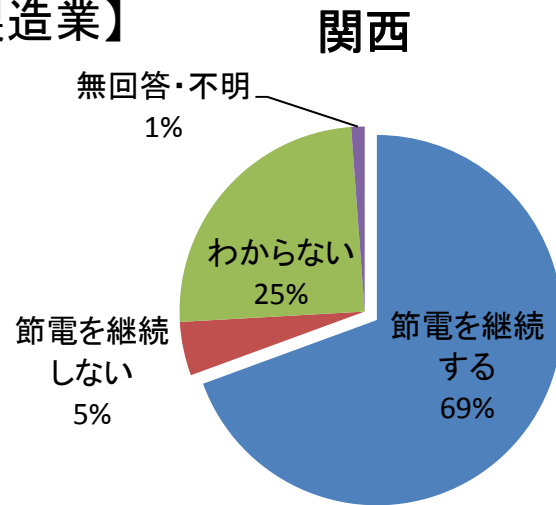


【非製造業】

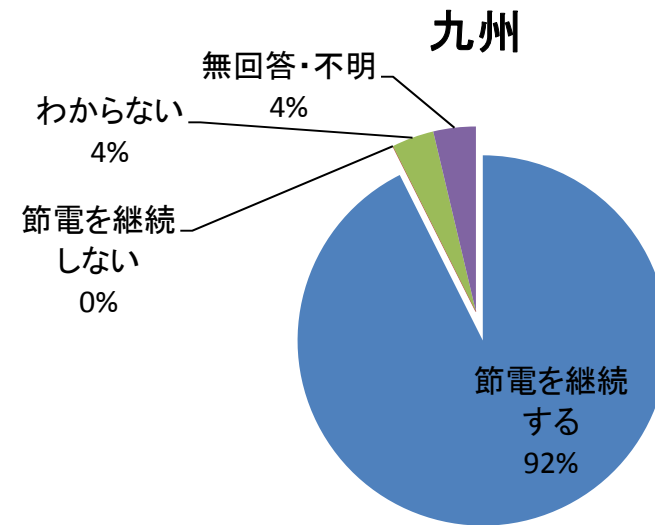


⑦節電の定着：今冬の節電期間終了後(4月以降)の節電の継続

【製造業】

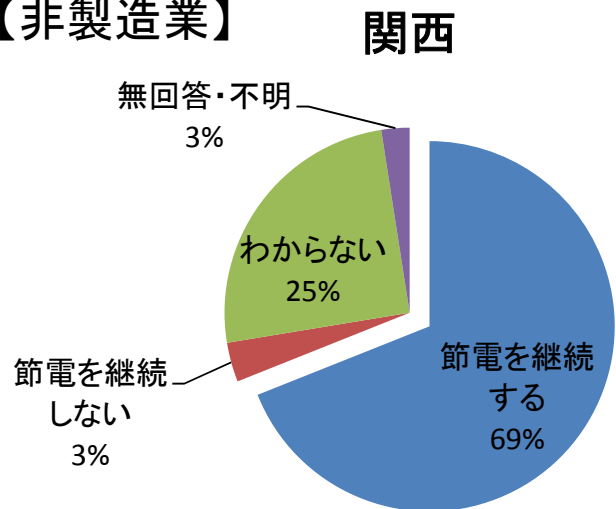


※取り組む節電率の平均： 8.3%

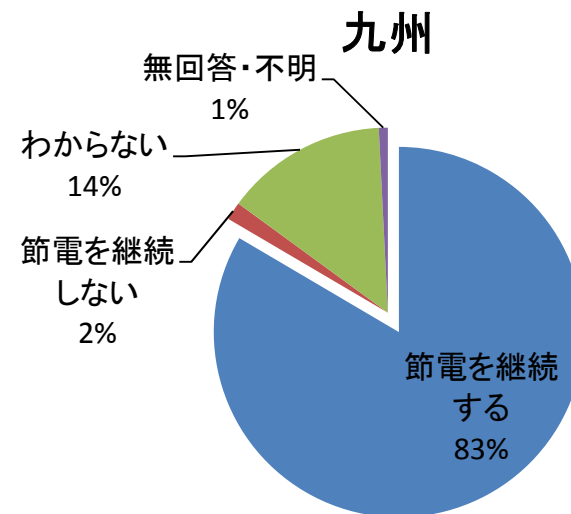


※取り組む節電率の平均： 5.3%

【非製造業】



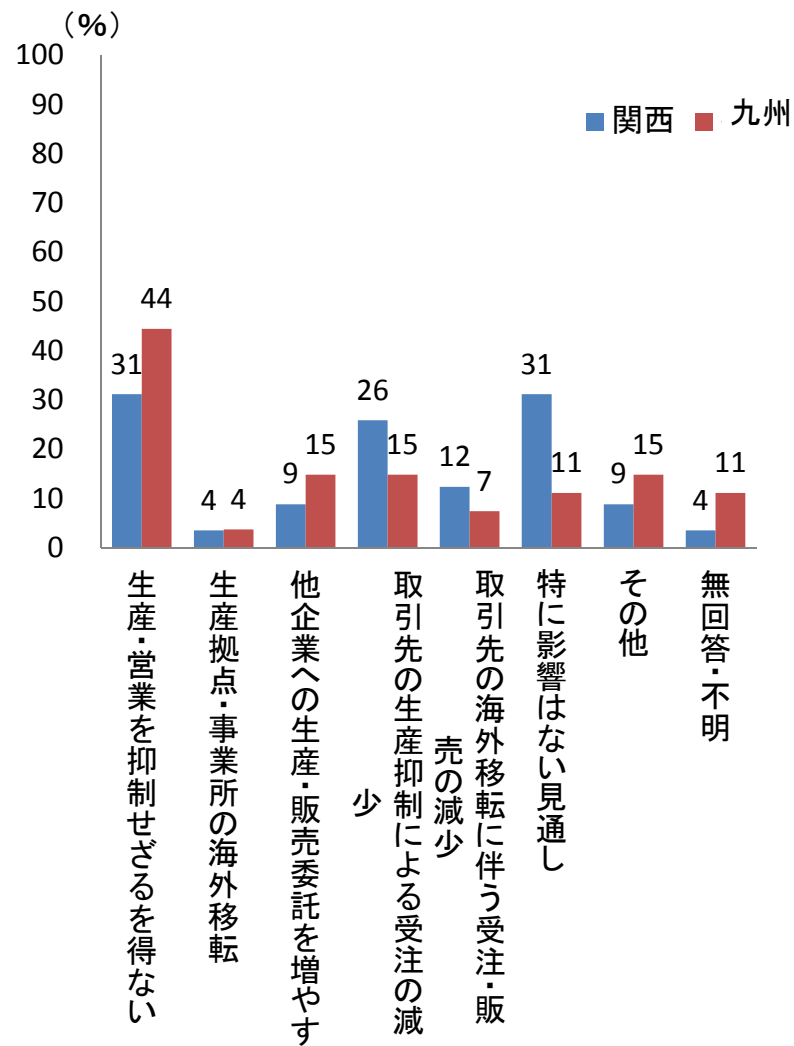
※取り組む節電率の平均： 8.8%



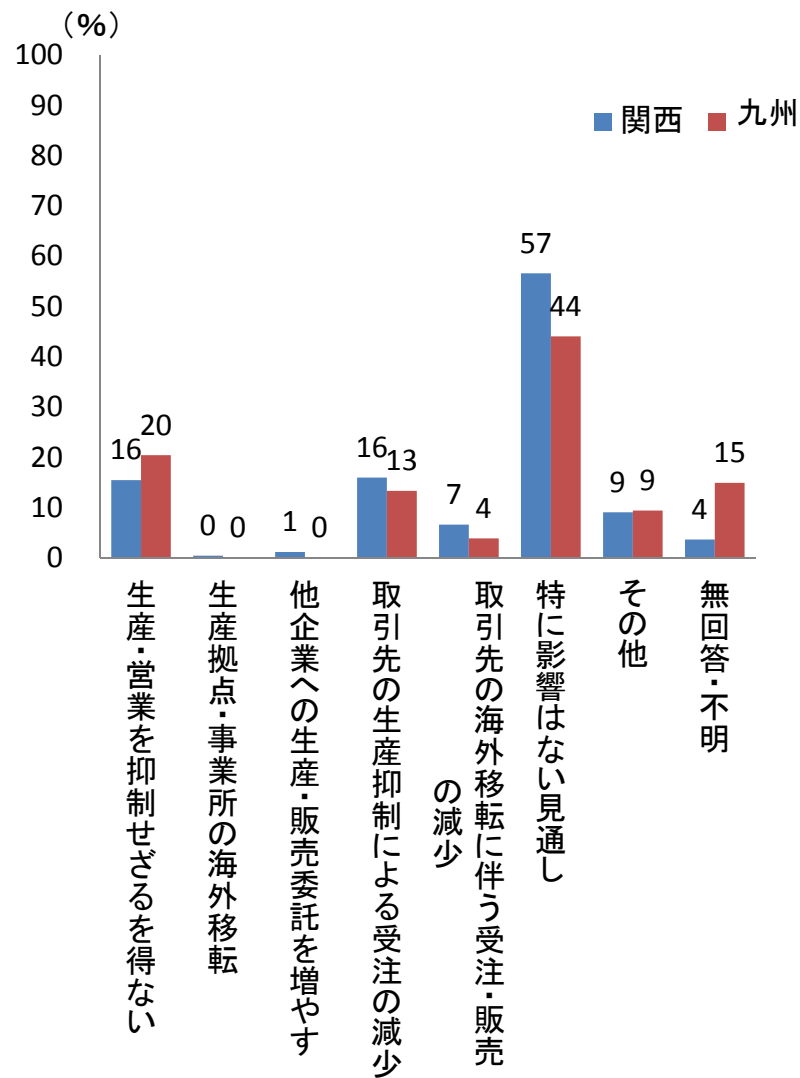
※取り組む節電率の平均： 8.9%

⑧電力不足が将来的に継続した場合の影響（複数回答）

【製造業】

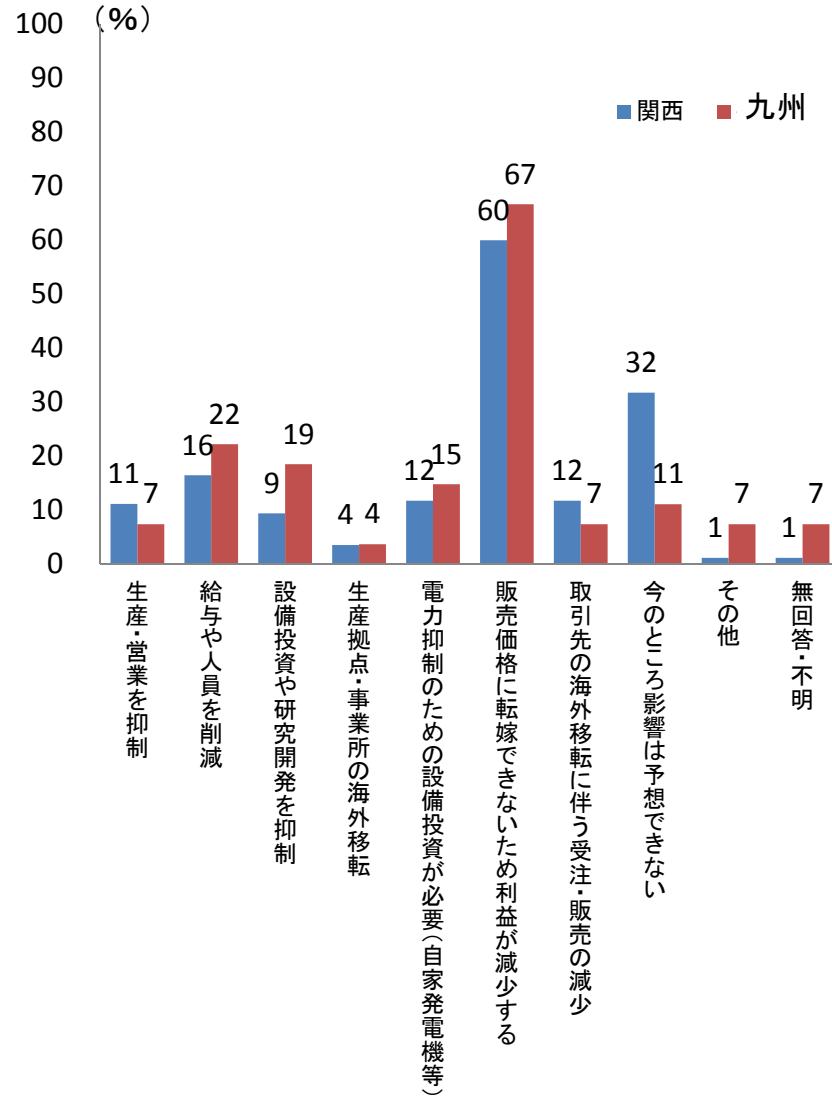


【非製造業】

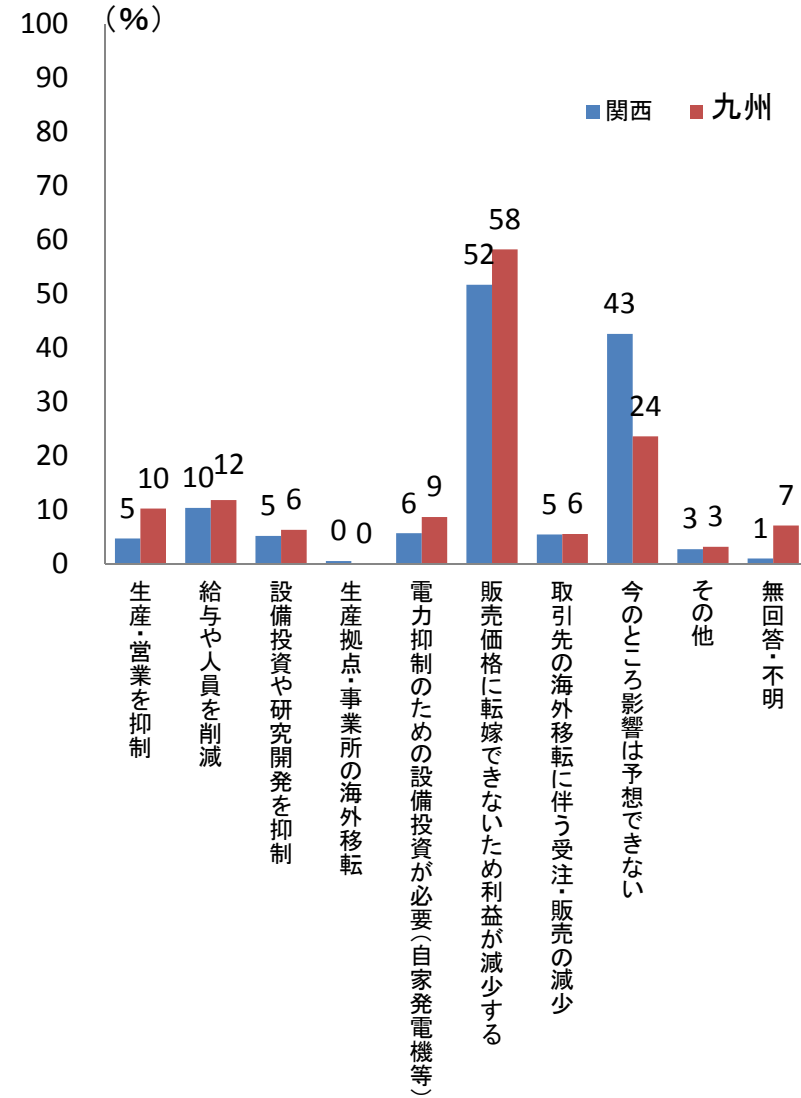


⑨仮に、今後、電力料金が上昇した場合の影響（複数回答）

【製造業】



【非製造業】

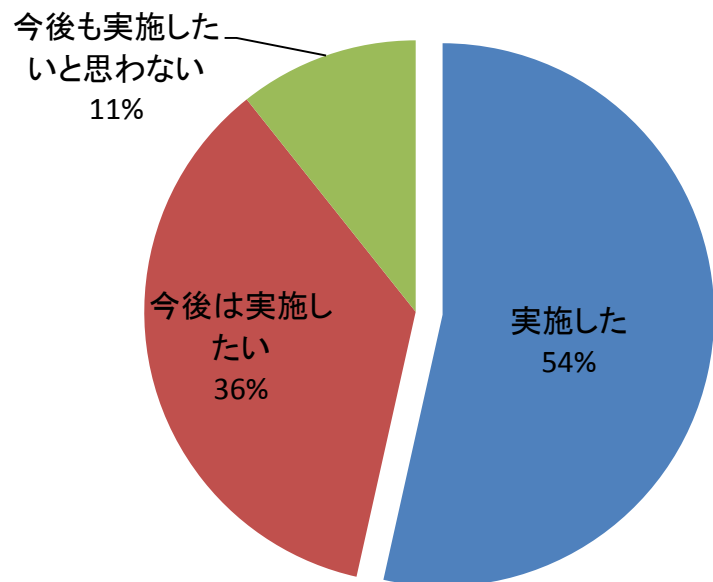


家庭のご協力

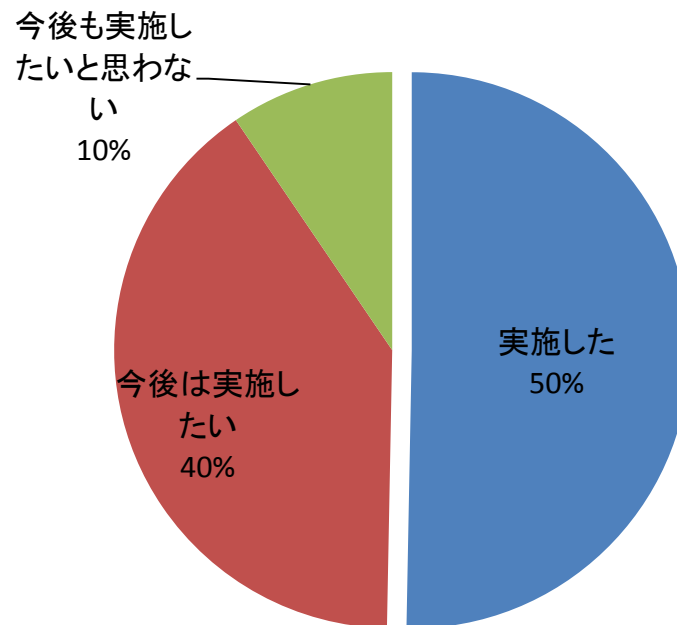
調査方法 アンケート調査(無作為抽出)
回答数 関西電力管内 1000人
九州電力管内 1000人

①節電の実施の有無

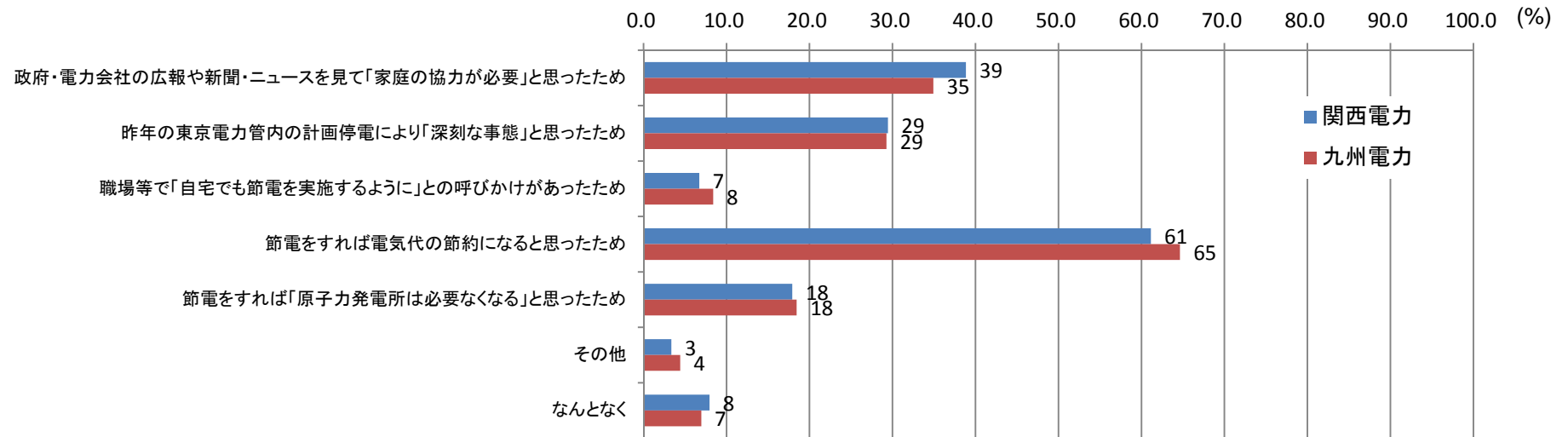
関西



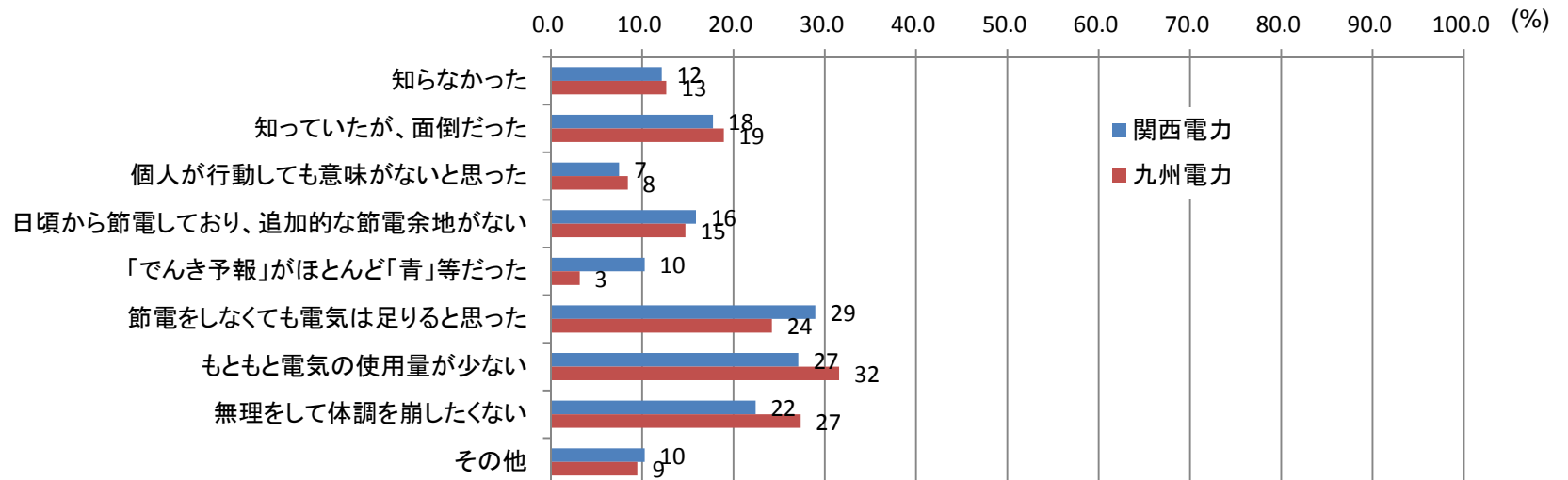
九州



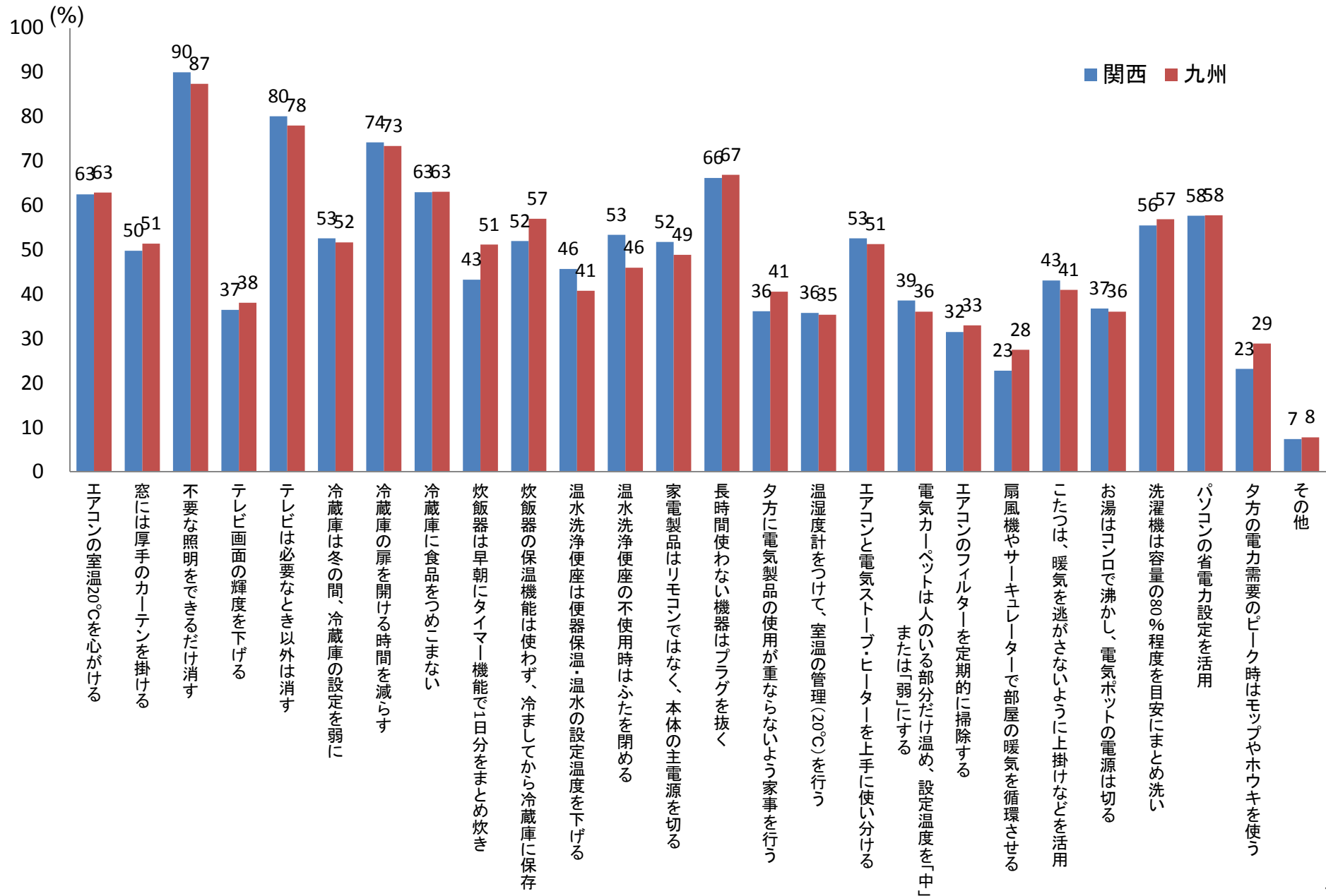
②節電を実施した理由(複数回答)



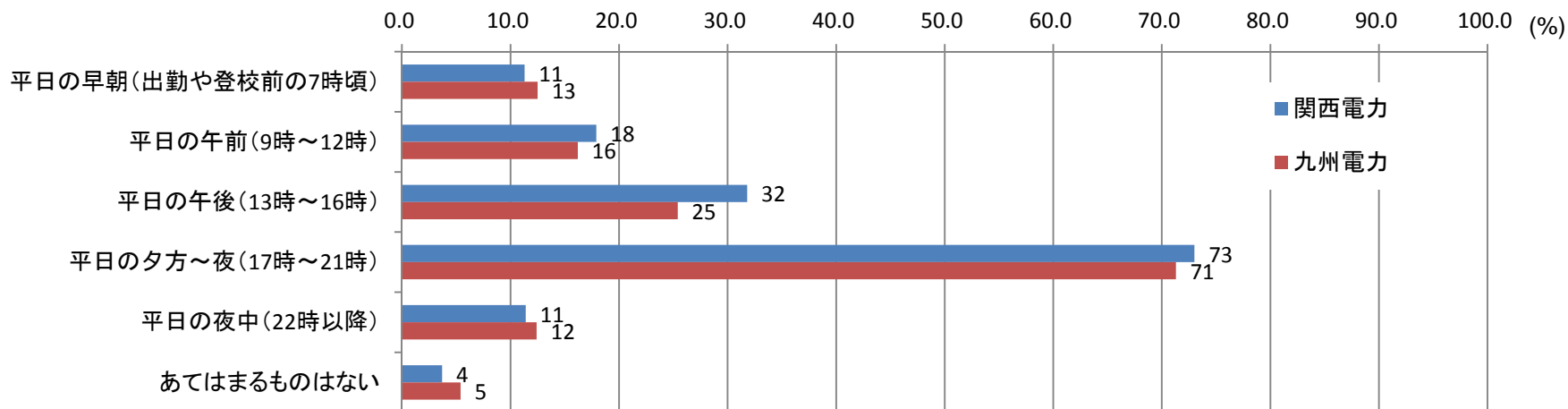
③節電を実施しなかった理由(複数回答)



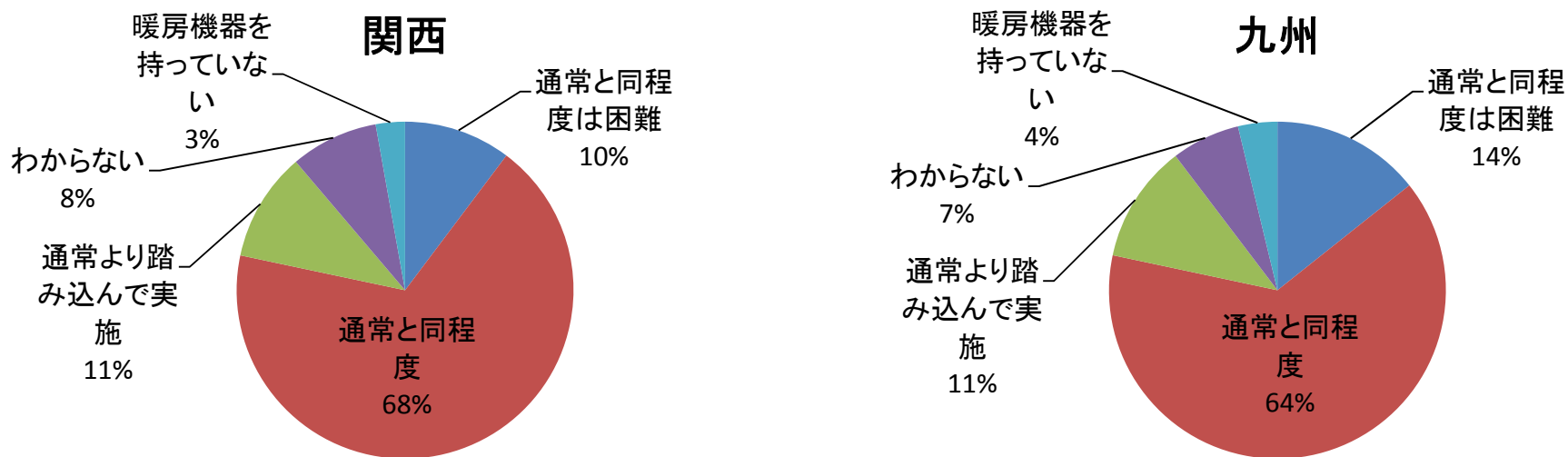
④実施した節電内容(複数回答)



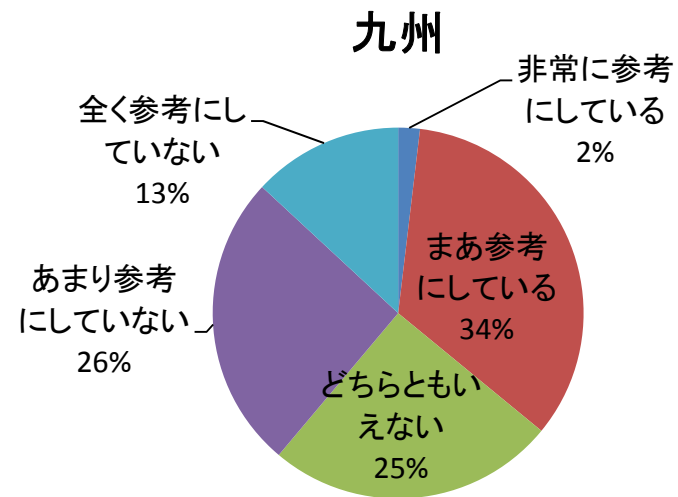
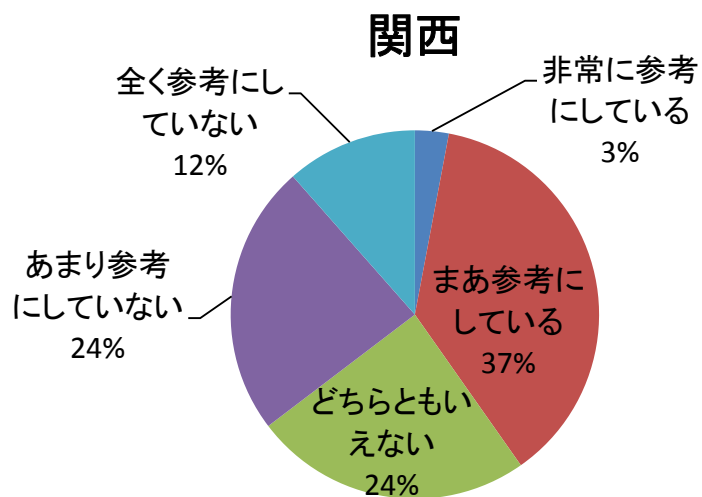
⑤ピークカット意識：特に家庭の節電が必要と思う時間帯（複数回答）



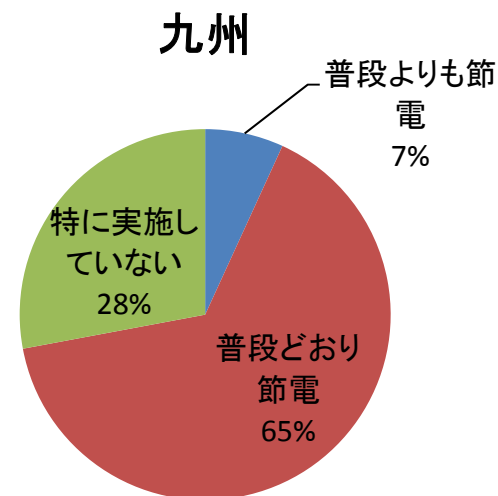
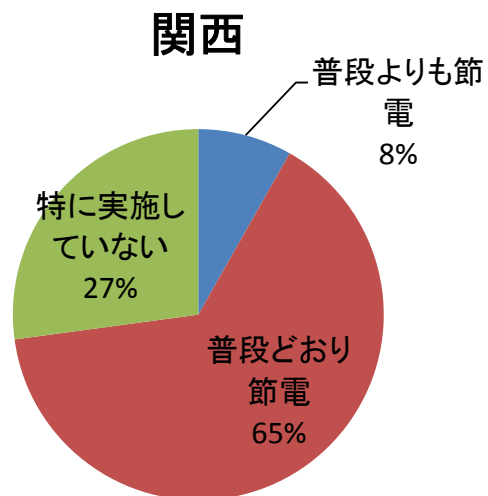
⑥ピークカット意識：特に寒さが厳しい日の夕方ピーク時間帯のエアコン等での節電



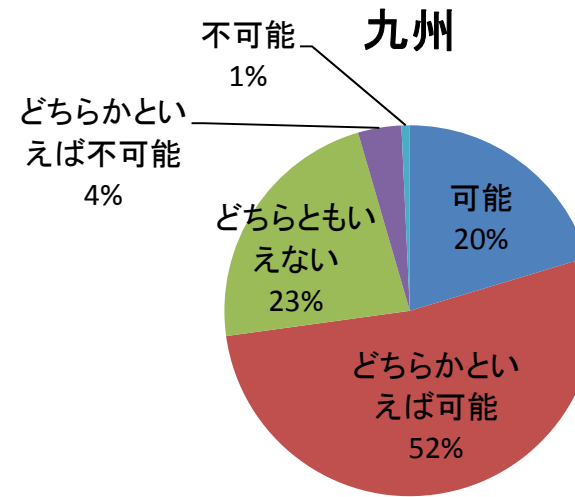
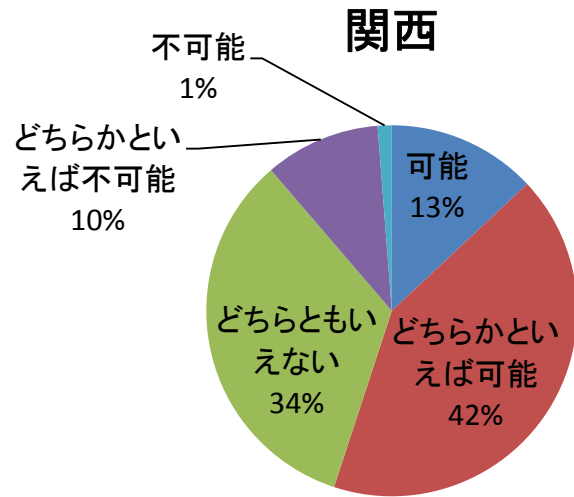
⑦需給情報の活用:「でんき予報」の活用



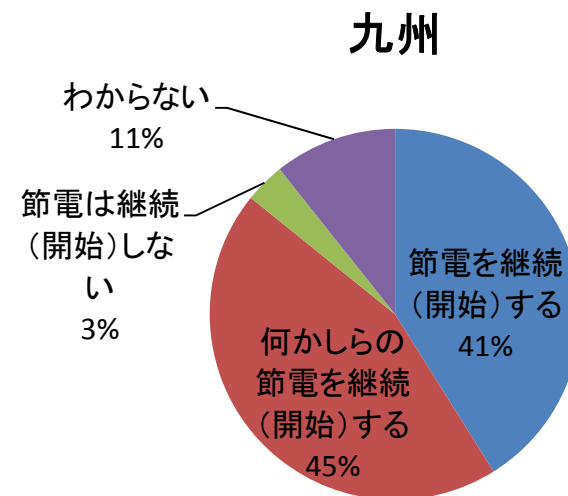
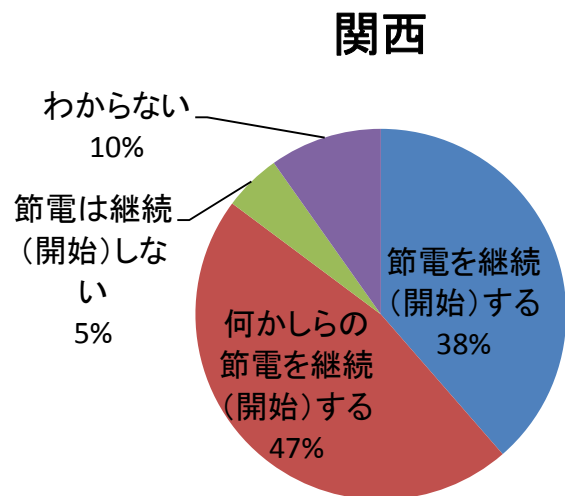
⑧需給情報の活用:「でんき予報」が「赤(2月3日)」「黄色(2月2日等)」等となった場合の節電



⑨今冬の節電目標(関西10%以上、九州5%以上)の達成可能性



⑩節電の定着: 節電期間終了後(4月以降)の節電の継続



⑪節電期間終了後(4月以降)にも継続(開始)する節電内容 (複数回答)

